

地域おこし協力隊 活動記 Vol.80



明けましておめでとーいございますー！

協力隊の石田です。

今回は昨年末、東京ビックサイトで三日間開催された『エコプロ2021』の話題です。

私たちが協力隊は、りんご／さくら和紙研究会メンバーとして出展してきました。

弘前大学主催産学官連携の本取組みは、廃棄される剪定枝を和紙に作り変え、弘前の工芸品やお土産物に活用しようとするものです。今回対面でお客様と話せたことで、ストーリー性のあるエコ製品に注目が集まっていると肌で感じる事ができました。

ブースへご来場のお客様は三日間合わせておよそ六百名！ねぶたが目立つブースには、青森に縁のある方や、紙関連のお仕事の方に多くお立ち寄りいただきました。

この出展に合わせて、JA相馬村加工工場長境合さん・特産販売課成田さんにもご協力いただき、飛馬りんごジュースのラベルに和紙を使用。見本として飾っている、「今飲めないの？」と聞かれることもしばしば☆

相馬地区のPRでは、紙漉体験に興味を持たれる方が多く、「その土地ならではの体験」には、やはり魅力がいっぱいだーと改めて認識することになりました。

今年は退任の年です！最後までトライする気持ちでがんばりますー！

(石田・佐野)

